

2015年1月29日

PGF生命
〔 プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル 〕
生命保険株式会社

PGF生命、外貨建て金融商品に関する調査を実施 保有の最も多い外貨建て資産は「外貨預金」、通貨別では「USドル」 50代・60代・20代の外貨保有が顕著

PGF生命（プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社、代表取締役社長 兼 CEO 谷川 武士）は、2014年11月13日（木）に世帯年収400万円以上の20歳～69歳の男女16,724名を対象に「外貨建て金融資産」に関する調査を実施しました。この結果、現在何らかの「外貨建て金融資産」を保有している人は17.5%（まったく保有していない人が82.5%）であることがわかりました。次頁以降が、「外貨建て金融資産」のいずれかを保有している1,000人（性別・年代別に均等に回収）を対象とした調査結果（11月14日～16日実施）となります。

調査結果ハイライト

- ✓ 保有人数の最も多い外貨建て金融資産は「外貨預金」
- ✓ 保有金額の高い金融資産は「外国債券」「外国株式」「外貨建て生命保険」
- ✓ 男女ともに20代の保有金額が30-40代に比べ多く、50代と同水準
- ✓ 各金融資産の通貨別保有は「USドル」が最も多い
- ✓ 現在の外貨建て金融資産の中長期の保有は「NZドル」「USドル」、今後保有したい通貨は「USドル」
- ✓ 外貨建ての金融商品を選ぶ基準は「発行国の経済状況」と「金利・利回り」がトップ

調査概要

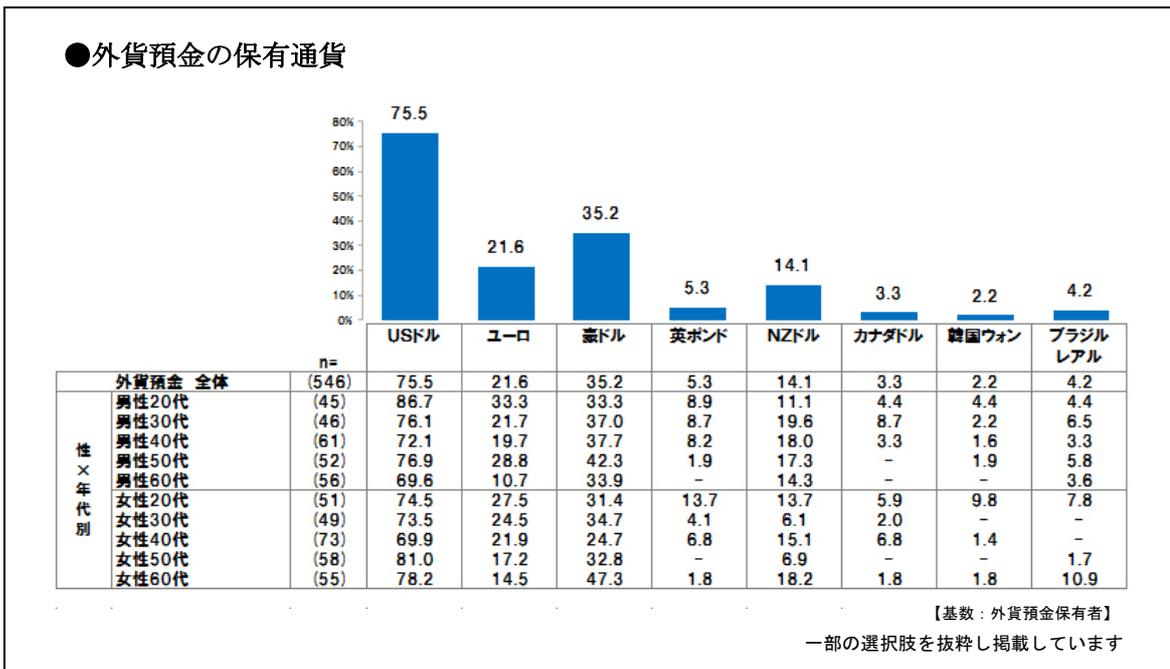
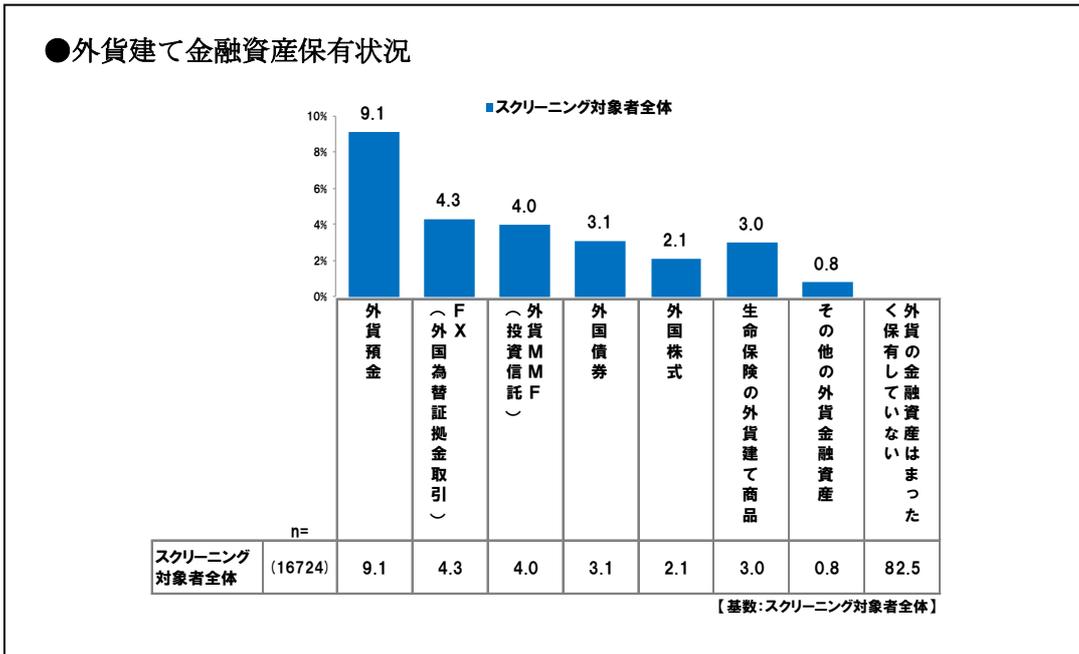
- 調査タイトル：外貨建て金融資産に関する調査
- 調査対象：全国20～60代の男女・外貨の金融資産を保有している方・世帯年収400万円以上
- 調査期間：2014年11月13日～16日
- 調査方法：インターネット調査
- 有効回答数：スクリーニング調査後のサンプル数が1,000サンプル（男女20～60代の年代別各100サンプル）

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、「PGF生命調べ」と付記のうえご使用いただきますようお願い申し上げます。

1. 外貨建て金融資産の保有状況

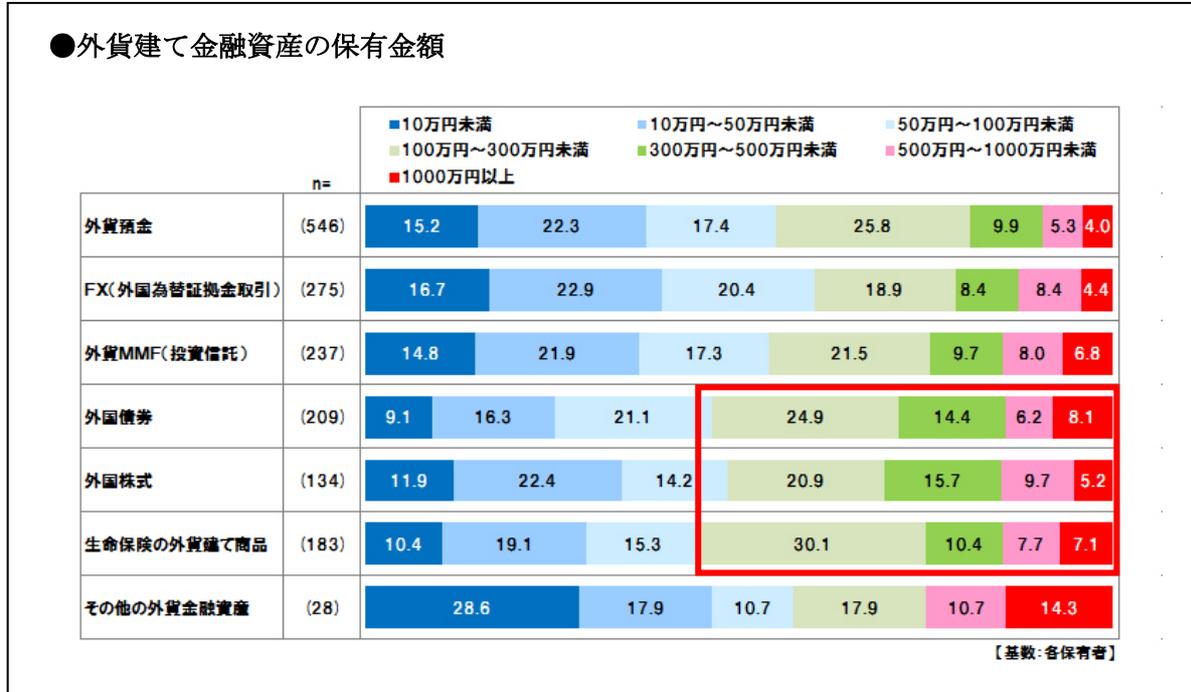
保有人数が最も多い外貨建て金融資産は「外貨預金」

- スクリーニング調査により「外貨建て金融資産」を保有している人の割合は 17.5%で、そのうち、最も多いものは「外貨預金」で、9.1%が保有。次に「FX（外国為替証拠金取引）」や「外貨 MMF（投資信託）」の保有者がそれぞれ 4%程度。「外国債券」「生命保険の外貨建て商品」保有者がそれぞれ 3%程度、「外国株式」保有者が 2.1%見られました。
- 外貨預金として保有する通貨（複数回答）を属性別にみると、いずれの層でも「USドル」の保有が一番多く見られますが、他層に比べて男性 20 代では「USドル」「ユーロ」の割合が高く、男性 30 代は「NZドル」「カナダドル」、男性 50 代は「ユーロ」「豪ドル」がやや高いという結果でした。女性 20 代は「ユーロ」「英ポンド」「韓国ウォン」、女性 50 代は「USドル」がやや高く、女性 60 代は「豪ドル」や「ブラジルリアル」の保有者が他層より多く見られます。



保有金額は「外国債券」「外国株式」「外貨建て生命保険」で高い

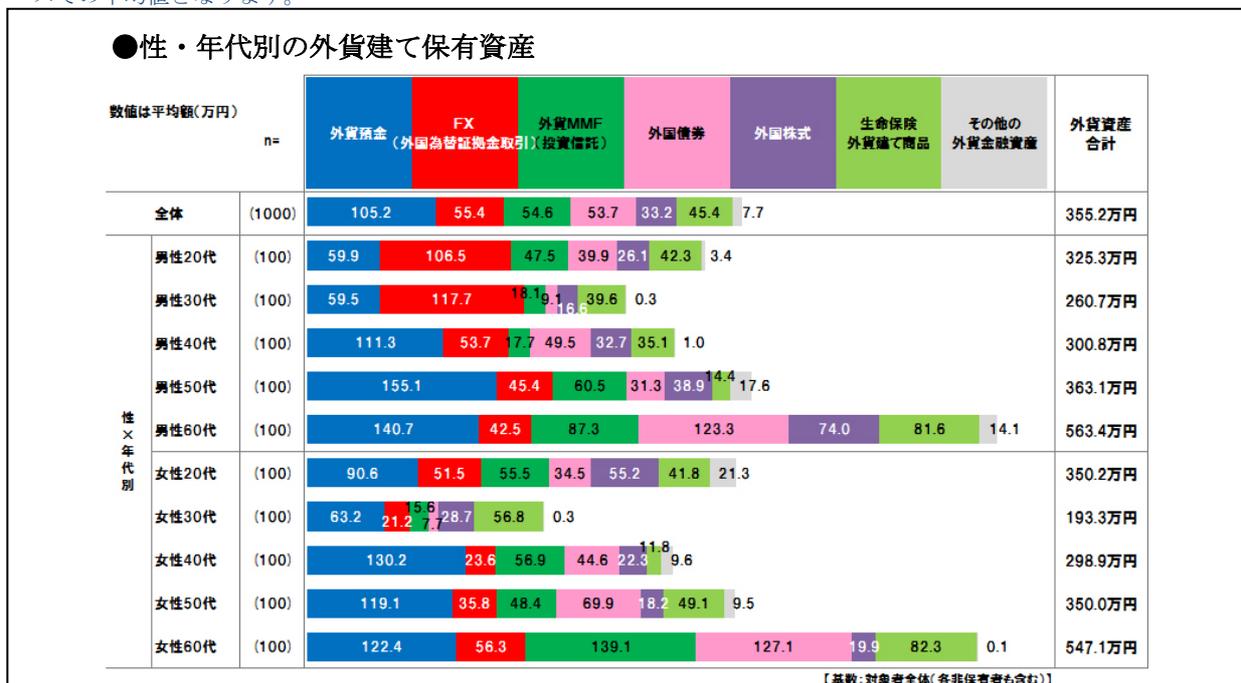
- 各金融資産の保有金額は、「外貨預金」「FX（外国為替証拠金取引）」「外貨 MMF（投資信託）」では「100万円未満」が5割を超え、中でもFXは「100万円未満」が6割を占めます。「外国債券」「外国株式」「生命保険の外貨建て商品」においては、「100万円以上」保有する割合が5割を超え、他の金融資産より保有金額が高いことが分かりました。「外国債券」は「1,000万円以上」保有する割合が8.1%と、他の資産と比べて最も高く、次に「外貨建て生命保険」（7.1%）と続いています。



男女ともに20代の外貨保有が30-40代に比べ高く、50代と同水準

- 性・年代別の保有資産の平均額を積み上げ表示*した場合、男性は60代で最も外貨資産の保有金額が高く（約563万円）、これに男性50代（約363万円）、男性20代（約325万円）と続きます。一方、女性も男性同様60代の保有金額が最も高く、次いで20代、50代となり、男女ともに20代での外貨建て資産の保有が30代・40代に比べて高い傾向が見られます。資産内容では、男性20～30代でFX（外国為替証拠金取引）が高いのが特徴的です。また、女性30代で「生命保険の外貨建て商品」が3割と、外貨預金と同水準となっています。

*外貨金融資産の種類それぞれについて、「平均金額」を算出し積み上げ、その算出方法は、「10万円未満」=10万円、「10～50万円」=30万円、「50～100万円」=75万円と中央値を基準値とし、「非保有者（0円と設定する）」も含めた対象者全体ベースでの平均値となります。



各金融資産の通貨別保有は「USドル」が最も高い

- 各金融資産における通貨別保有状況（各金融資産で複数回答）では、すべての金融資産において、「USドル」が最も多くの人保有する通貨となり、次に「豪ドル」（「外国株式」を除く）となっています。「USドル」はほとんどの金融資産（「外国債券」以外）で保有率が7割を超え、他の通貨を大きく上回っています。

●金融資産における通貨別保有状況

	n=	USドル	ユーロ	豪ドル	英ポンド	NZドル	ブラジルレアル	その他
外貨預金	(546)	75.5	21.6	35.2	5.3	14.1	4.2	4.9
FX(外国為替証拠金取引)	(275)	73.8	31.6	36.7	12.0	13.1	2.9	6.5
外貨MMF(投資信託)	(237)	73.4	11.8	38.4	6.3	14.8	13.1	3.8
外国債券	(209)	57.9	15.3	34.9	5.3	11.5	21.1	10.5
外国株式	(134)	80.6	14.2	9.7	9.0	6.0	6.7	5.2
生命保険の外貨建て商品	(183)	79.8	10.4	18.0	4.4	3.3	-	0.5
その他の外貨金融資産	(28)	67.9	10.7	21.4	7.1	14.3	10.7	10.7

【基数：外貨預金保有者】
一部の選択肢を抜粋し掲載しています

現在の外貨建て金融資産の中長期の保有は「NZドル」「USドル」、今後保有したい通貨は「USドル」

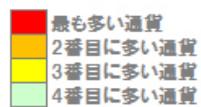
- 「現在保有の外貨建て資産を今後どのくらいの期間保有したいか」では、「NZドル」「USドル」「豪ドル」においては中長期の保有を考えている割合が高く「5年超保有したい」が3割を超えています。今後の保有意向通貨（複数回答）は、各金融資産とも共通して「USドル」がトップ、次いで「豪ドル」「ユーロ」の順番で高く（外国株式では「ユーロ」が2位、3位が「豪ドル」）、現状と変わらず「USドル」の人気が高いことが分かりました。

●現在保有の外貨建て金融資産を今後どのくらいの期間保有したいか

	n=	~3ヶ月	~半年	~1年	~2年	~3年	~5年	~10年	~20年	20年以上
USDドル	(790)	14.1	10.0	13.2	9.7	7.5	12.4	17.2	5.6	10.4
ユーロ	(217)	14.3	12.0	17.5	5.5	6.9	14.3	16.6	3.7	9.2
豪ドル	(396)	9.6	10.4	15.7	9.3	8.6	15.2	17.2	4.3	9.8
英ポンド	(75)	12.0	13.3	16.0	17.3	12.0	12.0	9.3	2.7	5.3
NZドル	(139)	15.8	4.3	15.1	10.8	8.6	11.5	16.5	4.3	12.9
スイスフラン	(25)	8.0	4.0	28.0	32.0	4.0	12.0	4.0	8.0	8.0
カナダドル	(45)	13.3	4.4	24.4	13.3	4.4	15.6	13.3	2.2	8.9
ブラジルレアル	(94)	8.5	10.6	18.1	14.9	9.6	20.2	9.6	1.1	7.4

【基数：各保有者】
一部の選択肢を抜粋し掲載しています

●今後保有したい通貨



	n=	U S ド ル	ユ ー ロ	豪 ド ル	英 ポ ン ド	N Z ド ル	ス イ ス フ ラ ン	カ ナ ダ ド ル	中 国 元
外貨預金	(557)	79.2	30.0	44.3	9.0	16.2	5.7	5.7	5.4
FX(外国為替証拠金取引)	(326)	76.4	38.3	46.0	14.7	17.8	4.9	6.4	5.5
外貨MMF(投資信託)	(265)	67.9	26.0	47.9	7.5	18.5	6.0	7.9	5.3
外国債券	(229)	62.0	22.7	39.7	8.3	17.5	6.1	9.2	3.9
外国株式	(193)	79.8	25.9	14.0	7.3	4.7	8.3	7.3	8.3
生命保険の外貨種で商品	(118)	78.8	16.1	24.6	8.5	6.8	5.9	5.9	2.5
その他の外貨金融資産	(40)	52.5	25.0	32.5	15.0	17.5	10.0	20.0	15.0

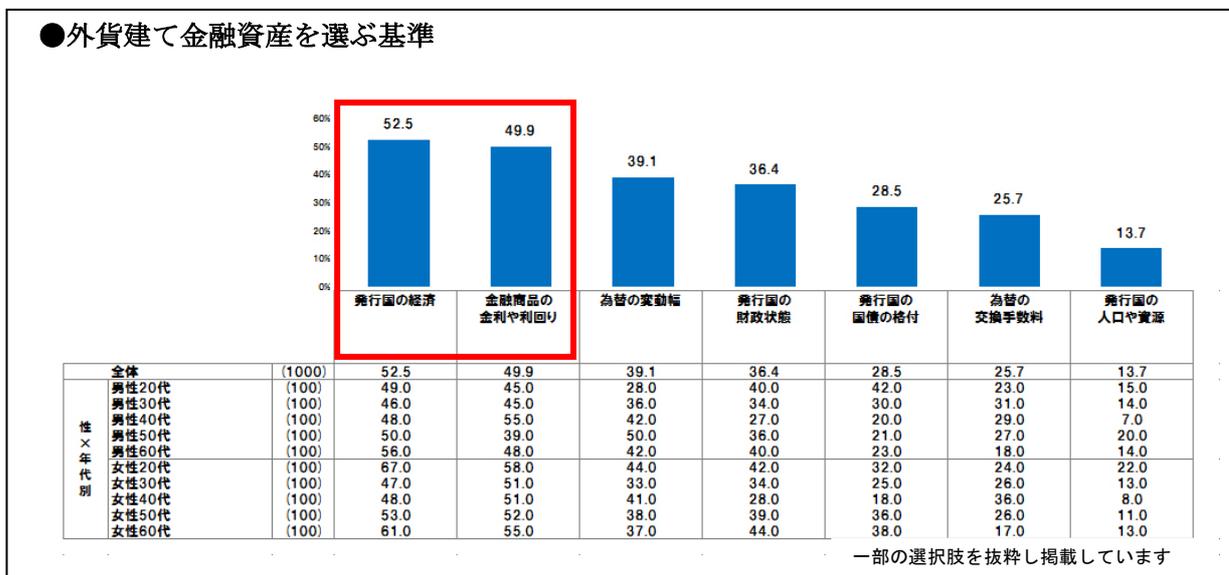
【基数:保有意向者】

一部の選択肢を抜粋し掲載しています

2. 外貨建て金融資産の選択基準・活用理由

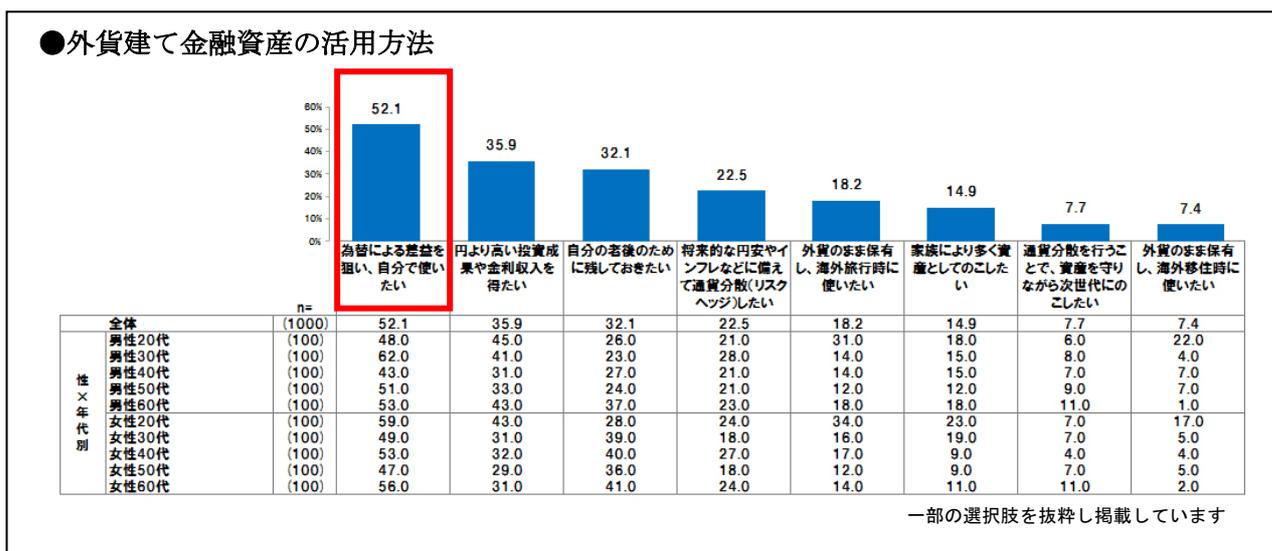
商品を選ぶ基準は「発行国の経済状況」と「金利・利回り」が高い

- 外貨商品を選ぶ際の基準（複数回答）は「発行国の経済」（約 53%）と「金融商品の金利や利回り」（約 50%）が半数程度で特に高く、「為替の変動幅」「発行国の財政状態」が 4 割弱で続きました。特に女性 20 代・女性 60 代は、「発行国の経済」「金融商品の金利や利回り」を重視していると回答する割合が高く、一方で男性 50 代は「為替の変動幅」を重視していると回答する割合が高くなっています。



「増やして自分で使いたい」が活用理由トップ

- 外貨建て金融資産の活用方法（複数回答）については、「為替による差益を狙い、自分で使いたい」が過半数となり、さらに「円より高い投資成果や金利収入を得たい」「自分の老後のために残しておきたい」が 3 割以上で続いています。外貨の活用は「増やして使いたい」意向が多いことが分かりました。「海外旅行」や「海外移住」の時に使いたいといった理由は比較的小さい結果となりましたが、男女 20 代では他の年代に比べて高い割合となりました。



3. 外貨建て金融資産のイメージ

外貨建て金融資産は「為替の影響」のイメージが高い。加えて外貨建て生命保険は「円建より運用利率が高い」というイメージが高い

- 「外貨建て金融資産」のイメージ（複数回答）は、「為替に影響される」（約 61%）が最も高く、次いで「ハイリスク」（約 44%）。以下「金利が高い」「為替手数料が高い」「ハイリターン」といったイメージが3割超となっています。
- 「外貨建て生命保険」についてのイメージ（複数回答）は、「為替に影響される」（約 35%）「円建て生命保険より運用利率が高い」（約 35%）といった2つの印象が高く、この他、「長期的に保有する」「短期で解約すると元本を確保できない」といった印象が2割程度で見られます。

